

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 PTA
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	51人

1. 使用状況

寄贈物品名	コンピューターミシン
使用学年及び人数	全学年 28名 (作業学習:布工房在籍者)
使用頻度	週4回程度
使用状況	<p>・作業学習での使用(布工房)</p> <p><1年生:毎週火曜日、水曜日…計2回></p> <p><2年生:毎週火曜日、金曜日…計2回></p> <p><3年生:毎週月曜日、水曜日…計2回></p>
物品の使用による変化や効果	<p>布工房では、エコバッグや布マスク、ポーチなど、時代や地域のニーズに合わせて、様々な製品を作成しており、地域の事業者や関係の職員に販売する機会を設けている。寄付を頂いたコンピューターミシンを使用することにより、質の良い製品を制作することができたり、新たな製品作りができたりと、意欲的に作業学習に取り組むことができている。また、近隣の幼稚園から、卒園児用のペンケースや入園児用の防災頭巾カバーなどの受注があり、製品づくりの充実感に繋がっている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>コンピューターミシンの機能を活用しきれしていない部分もあるため、更なる教材研究を重ねる必要があると考えている。</p>
その他希望や所感など	<p>コンピューターミシンの使用は、教師にとっても、生徒への支援方法や環境設定を考えたり、生徒と一緒に新たな製品づくりをしたりなど、作業学習を見直す機会となっており、大変ありがたい。</p>

2. 活用の様子

○布工房でコンピューターミシンを使用し、製品を作成している様子
・2年生徒



・3年生徒

